

第45回野田村仮設住宅訪問活動報告

2015年5月18日

報告：杉山望（札幌教会）

実施日：2015年5月15日（金）

参加者：12名

鮫教会4名、八戸教会2名、帯広教会3名、

三沢教会1名、札幌新生教会1名、札幌教会1名

お茶会用お菓子：六花亭（帯広教会）、おかき（鮫教会）、
フルーツゼリー（個人献品）

お土産：北海道産アスパラ（北海道連合）



2日前に震度5強の余震があり、心配されましたが、活動は予定通り行うことができました。派遣礼拝では、札幌新生教会の田中牧師が熱演してくださった紙芝居「ろうそくものがたり」によって緊張をほぐされ、マルコ10：42-45の御言葉を通してご自身の命を与えるために来られた主イエスに思いをはせながら、送り出されました。

野田中仮設住宅の茶話会には13名の方が参加してくださり、共に楽しい交わりの時間を過ごしました。あと1年で仮設を出られる、という展望を持っておられる一方で、これからの生活への不安をこぼされる方もおられました。

合わせて、門前地区の仮設住宅を訪問し、お土産のアスパラを配りました。他の仮設住宅の訪問でも、空家や留守のお宅も多くありました。



他の地域では、避難所から仮設、仮設から復興住宅へと移る度に人が入れ替わり、初めから関係を作り直さなければならないこともあります。野田村では仮設住宅で生活を共にした方々が、同じ地区の住宅に移ることもできる、という安心感もあるようです。



午後の泉沢地区仮設住宅での茶話会には、2名の方が参加してくださいました。1名はすでに仮設を出られた方でしたが、この日のために駆けつけてくださいました。これまでの活動を通して、信頼関係が結ばれていることを感じました。



鮫教会での分かち合いでは、これからの活動についての想いも話されました。被災者の方々だけでなく、これまで支援活動を続けてきた現地の教会・牧師のことも覚えて、祈り支えていくことが必要だと感じました。